

群馬県文化振興指針（仮称）骨子に関する説明会【開催結果概要】

1 開催日時 平成24年11月14日（水） 14：00～15：35

2 開催場所 ベイシア文化ホール（小ホール）

3 参加者数 109団体（出席団体率 87.9%）
181人（出席者率 88.7%）

4 指針に対する文化団体からの主な意見

- ・学校教育における子どもたちの文化芸術の鑑賞機会の選択肢を広げる新しいアプローチの方法を検討してほしい。（NPO法人〔1〕）
- ・基本的な文化振興施策の2（1）芸術文化等の振興に「映画」あるいは「メディア芸術」という言葉を、是非、入れてほしい。（文化団体〔1〕）
- ・地域によって文化活動を行う上での支障は様々である、アンケート調査の結果のみで物事を判断しないでほしい。（文化協会〔1〕）
- ・企業によっては、今の不況の時代、文化団体に支援できない企業もあると思う。アンケート調査によって全ての企業の意思が反映されているという考え方はよしていただきたい。（文化協会〔1〕）
- ・指針ができることを非常に喜んでいる。（文化施設〔1〕）
- ・妙義を中心とした文化活動を行っているが、以前、日本の三大奇勝である妙義山の活用を関係する市町村で検討し、話しがまとまりかけたが人事異動で話しがなくなってしまった。複数の市町村にまたがる広域な取組には、県に中に入ってもらいとりまとめてもらいたい。また、市町村でできないものについては、是非、力を貸してもらえようような組織を作してほしい。（文化施設〔1〕）
- ・子供たちの映像教育を行っている。文化や教育は、大人が楽しんだり、豊になるためだけではなく、子供の未来に通じないかぎり文化の存在は薄れてしまう。是非、映像文化という言葉了指針に入れてほしい。（文化団体〔2〕）
- ・高校の文化部と運動部に対する評価は非常に違うと思う。運動部は全国大会へ参加する奨励金などがあるが、文化部にはない。全ての高校生に公平に支援してもらえようような指針をお願いしたい。（文化団体〔3〕）
- ・教育や学校分野の意見があまり入っていないように思う。教育面からの文化という面を加えてほしい。（文化団体〔4〕）
- ・小学生は文化芸術に触れる機会が多いが中学生になると部活動中心になりほとんど触れる機会がない。地域でカバーできるようなものがあればよいと思う。（文化団体〔4〕）

- 合併で日の目を見た文化と歴史もあると思うが、埋もれてしまう文化や歴史もあると思う。市町村は精一杯でやっているなので、県が目を光らせてほしい。(文化団体〔4〕)
- 「末端で指導するのは限界だ。県でも力を入れてくれないと困る。」と長年言い続けてきたが、やっとこのようなものができたと思った。(文化協会〔2〕)
- 基本理念を読むと新しい文化を創造するという部分が読み切れない。群馬県の中に新しい文化を作り出している人たちがいると思う。(NPO法人〔2〕)
- 県庁の内部では、指針策定にあたりどのように連携しているのか。(文化団体〔5〕)
- 実行性の確保で専門機関の設置に当たっては、方向性とか支援に偏りがないうようにメンバーを選んでほしい。(文化団体〔6〕)